

令和2年度進捗評価シート
多賀城市歴史的風致維持向上計画（平成23年12月6日認定）
（最終変更平成28年10月13日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画調整担当部署及び事業担当部署との連携 並びに「多賀城市歴史的風致維持向上協議会」 の開催		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における都市計画との連携		2
2 重点区域における景観計画の活用		3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 多賀城南門復元事業		4
2 南北大路整備事業		5
3 政庁ー南門間道路整備事業		6
4 特別史跡多賀城跡附寺跡環境整備事業		7
5 大路広場整備事業		8
6 無電柱化事業		9
7 歌枕環境整備事業		10
8 歴史の道詩都景観形成事業		11
9 塩竈街道修景事業		12
10 案内板・情報施設整備事業		13
11 貞山運河魅力創出事業		14
12 多賀城跡歴史体験学習事業		15
13 史都多賀城歴史観光講座		16
14 出前講座		17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査 国・都道府県・市町村による文化財指定 保存管理(活用)計画の策定・見直し		18
2 文化財に関する事業(修理・整備・復元等) 文化財の保存・活用を行うための施設に関する事業 文化財の周辺環境に関する事業 文化財の防災に関する事業		19
3 文化財に関する普及啓発の取組 民間団体への助成・支援 民間団体と連携・協力した取組		20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
政庁跡発掘「辺境」覆す 多賀城南門復元へ始動 起工式 古代多賀城へ思いはせる 【歴史的食文化体験学習】蕎麦の種まき 【歴史的食文化体験学習】古代米の刈取り 多賀城跡で平安期の白磁 【TV放送】水バラ ローカル路線バス陣取り対決旅(山形～宮城) 多賀城市補正予算案 南門復元など 古代東北に思いはせて トンボ玉作り 児童らが夢中 万葉の美 生涯懸け追う 【資料展】地域の文化財 留ヶ谷・高碕・田中村		21
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 「歴史の風」(広報多賀城)での紹介		22
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		23

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
計画調整担当部署及び事業担当部署との連携並びに「多賀城市歴史的風致維持向上協議会」の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	計画の推進にあたっては、多賀城市歴史的風致維持向上協議会や文化財保護委員会とも協議しながら、計画の変更や事業の追加・削除などについて実施していくこととする。 多賀城市歴史的風致維持向上協議会は毎年度末に恒常的に開催し、その都度事業の進行管理や歴史的風致の維持向上について確認を行うものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致維持向上協議会(令和2年11月22日～同年12月3日書面開催、令和3年2月22日～同年3月8日書面開催)並びに文化財保護委員会(令和3年2月15日書面開催)を開催し、歴史的風致維持向上計画の第2期策定にあたっての意見聴取や進行管理等の確認を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、第12回及び第13回多賀城市歴史的風致維持向上協議会並びに多賀城市文化財保護委員会を書面会議で開催した。			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
重点区域における都市計画との連携			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	歴史や風土を活かした魅力ある街並みの創出や、回遊性と賑わいのある市街地形成を図る上で、重点区域内のほぼ全域に高さ規制を設け、さらに都市計画道路清水沢多賀城線や用途地域の見直しなど、良好な市街地が形成されていくよう適切な措置を講じていくこととする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市計画道路清水沢多賀城線の橋梁部(砂押川部)のデザインについては、デザイン案の中で周辺環境に配慮したものとして、桁色は景観色(ブラウン色)とした。また、防護柵等についても色を統一し、同じく景観色(ブラウン色)とした。令和3年1月に完成し、同月26日に開通式を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 清水沢多賀城線における景観に配慮した橋梁			
 清水沢多賀城線における景観に配慮した擁壁			

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
重点区域における景観計画の活用		■実施済 □実施中 □未着手	
計画に記載している内容	景観計画を策定し、市民とワークショップなどを開催し、重点区域を中心に捉え、基準や届出行為を定め、歴史的風致に配慮した景観形成のための措置を講じる。さらに、屋外広告物の規制については、景観計画において独自に方針を定め、屋外広告物の規制・誘導を適正に図り、良好な景観形成に努めるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年4月に策定した「多賀城市景観計画」の中で、景観重要公共施設の候補としている「中央公園」内に特別史跡周辺の環境に合うトイレ整備を実施した。また、多賀城南門復元に併せ、築地堀の遺構表示も実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画どおり進捗している ■計画どおり進捗していない		良好な景観形成に向けた施設整備を計画的に進めているが、街並み形成に向けた規制誘導の基準改定等に向けた具体的な取り組みについては第2期計画内で進めることとする。	
状況を示す写真や資料等			



特別史跡の景観に配慮した公園トイレ

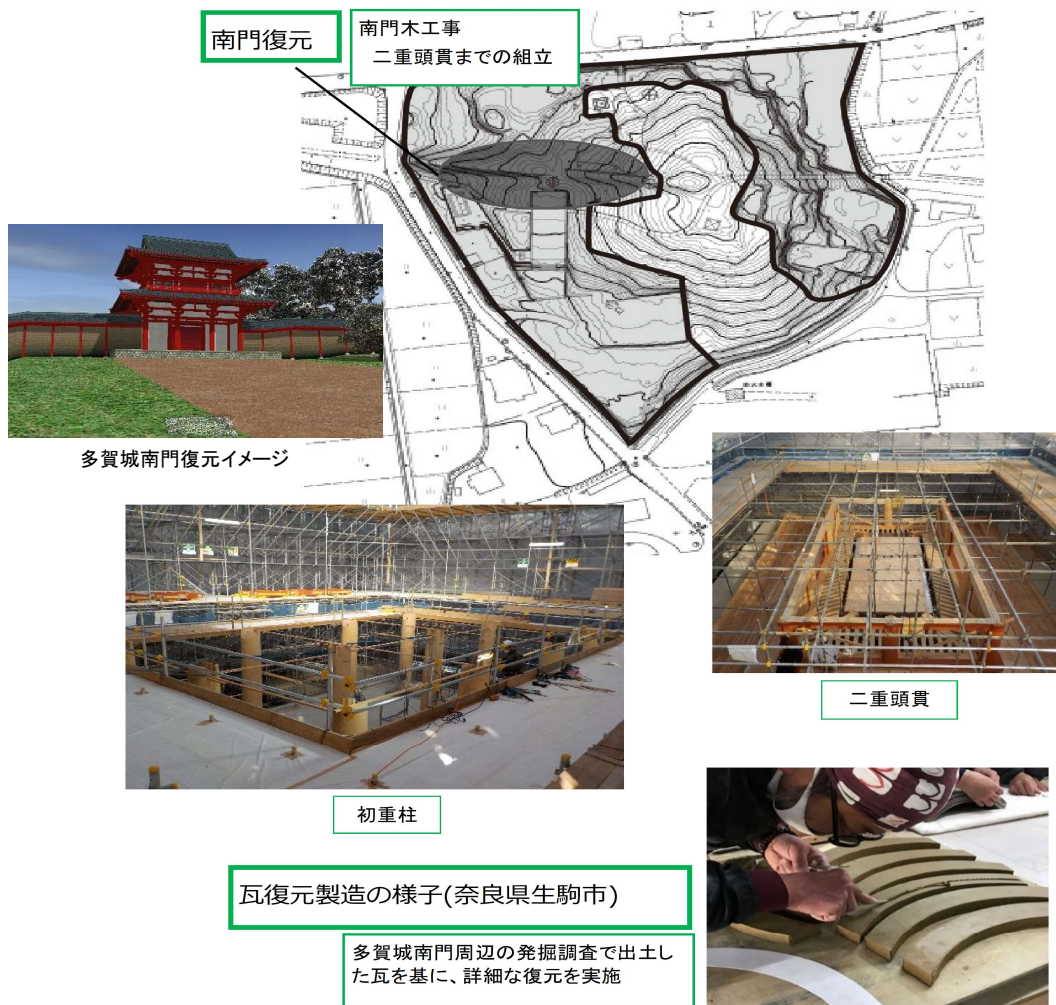


特別史跡の景観に配慮した遺構表示

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
多賀城南門復元事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	歴史的風致を形成している多賀城跡において、これまでの発掘調査成果及び学術的な見地に基づき多賀城南門を復元整備する。なお、復元に関しては多賀城が最も充実していたとされる第Ⅱ期の多賀城南門とする。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・南門基壇工事開始 ・令和2年10月、受注者による立柱式開催 ・令和2年10月、多賀城南門復元工事の体験学習会実施 ・令和3年3月、二重頭貫までの木工事完了 ・南門瓦製造業務を委託 ・多賀城南門等復元整備事業の進捗率 約60%			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		より精度の高い詳細設計に時間を要したことから、着手が遅れたものの、第2期計画を策定後、進捗管理を適正に実施していくこととする。	
状況を示す写真や資料等			



評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	令和2年度 現在の状況
南北大路整備事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手

事業期間	平成24年度～令和2年度
支援事業名	①史跡等及び埋蔵文化財を活かした観光振興・地域活性化事業 ②社会資本整備総合交付金(都市公園事業)
計画に記載している内容	多賀城南門へ至る南北大路について、発掘調査の成果及び学術的な見地に基づき幅員17mで整備する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

令和2年度は、多賀城南門復元工事のための施工ヤードとして当該用地を活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない	多賀城南門復元事業の工事着手の遅れもあって、当該事業にも遅延が生じている。多賀城南門の第2期計画で適正に進行管理する。

状況を示す写真や資料等



施工ヤードとして活用している南北大路予定箇所

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

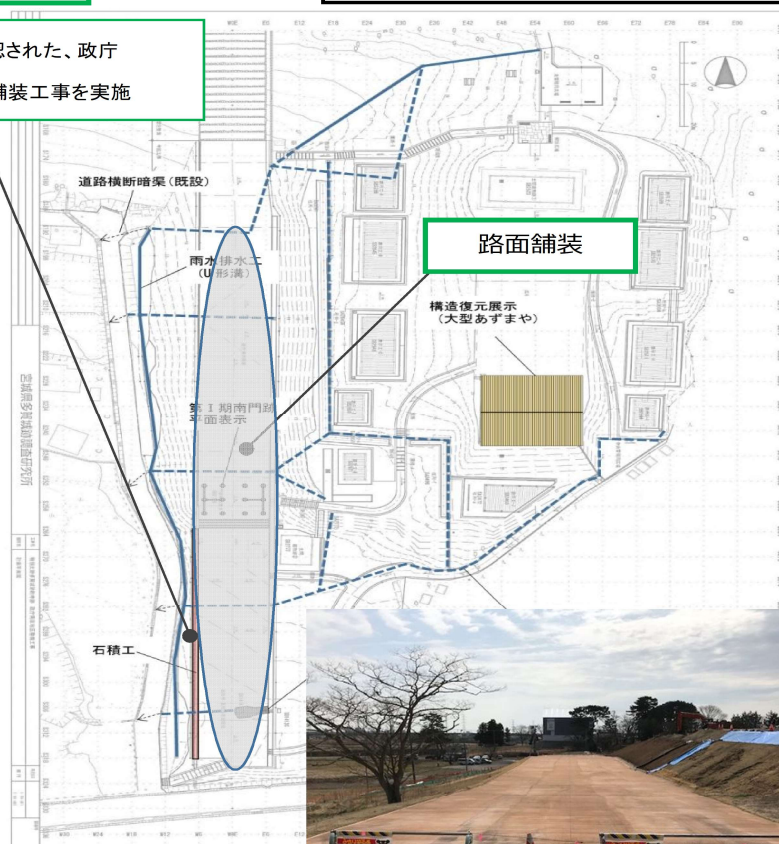
		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
政庁－南門間道路整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和2年度		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	歴史的風致を形成している多賀城跡において、その中心部分である政庁と多賀城南門を結ぶ道路を、発掘調査の成果に基づき、幅員13mで整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【宮城県多賀城跡調査研究所事業】 ・路面の復元舗装工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

路面舗装工事

発掘調査で確認された、政庁
南大路の路面舗装工事を実施

政庁南面地区整備計画(全体)



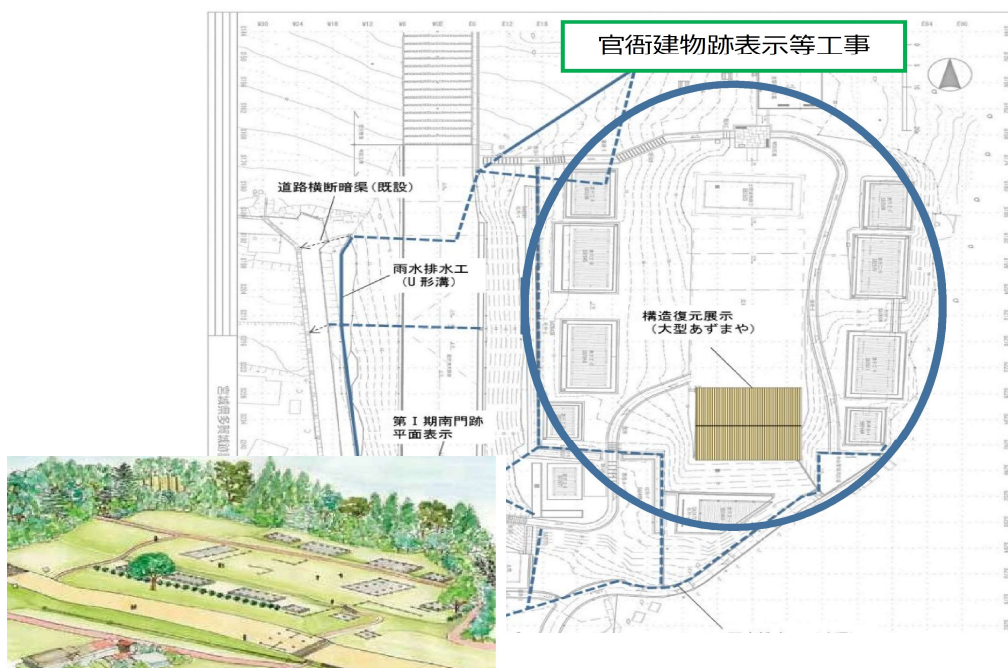
路面舗装写真

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
特別史跡多賀城跡附寺跡環境整備事業		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和45年度～		
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	歴史的風致を形成している多賀城跡において、年次計画に沿って実施している発掘調査の成果に基づき、遺構等の平面表示や、遺構を結ぶ園路、説明板、修景整備などを実施している。また、東日本大震災により被災を受けた箇所への復旧もあわせて実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【宮城県多賀城跡調査研究所事業】 ・城前地区の官衙建物跡表示等工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



整備イメージ



現在の整備状況